# 高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：外国語　科　目：英語コミュニケーションⅠ　単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：磯野　栗原　佐藤　平田

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅰ （三省堂） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語を通じて言語や文化に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 外国語を通じて情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 65

評価規準：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の基礎的な働きなどの理解を深めている。またそれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる基礎的な技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的や話題について、複雑でない外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する基礎的な理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて最低限のコミュニケーションを図ろうとしている。 |

評価方法と割合：

| 【知識・技能】　全体の３分の１ | 【思考・判断・表現】　全体の３分の１ | 【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１ |
|---|---|---|
| ①確認テスト５０％<br>②授業内の小テスト３０％<br>③授業内の発表等２０％ | ①確認テスト５０％<br>②提出課題の内容５０％ | ①学習に取り組む状況・振り返りの状況１００％ |

| 学期 | 月 | 具体的な指導目標 | アキルスタンダード（指導項目・内容） | 知 | 思 | 態 | 評価の方法 | 実績（実施日） 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 7組 | 配当時間 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | Lesson1　Coloers of Spring<br><br>学習のねらい：春のイメージカラーの国による違いを知る。<br><br>主な言語材料：be動詞・一般動詞の現在形<br><br>主な活動：色や春についてやるいとりする。<br><br>指導上の留意点：<br>【内容面】色と文化との結びつきや、世界各地への文化の広がりについて考えさせる。<br>【文法面】be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| | 5 | 系統だった文法事項として、人称代名詞の活用・be動詞の変化・不規則動詞の活用の習得を目指す。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 6 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 12 | |
| | 7 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 8 | |
| 2学期 | 9 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | Lesson2　Dick Bruna<br><br>学習のねらい：「ミッフィー」の生みの親、ディック・ブルーナについて知る。<br><br>主な言語材料：be動詞・一般動詞の過去形<br><br>主な活動：キャラクターや本についてやりとりする。<br><br>指導上の留意点：<br>【内容面】芸術への理解を深める。またブルーナーの活動から、社会貢献について考えさせる。<br>【文法面】一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 10 | タイトル、挿絵などからその内容について想像し、教科書本文の大意を推測することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 11 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 12 | |
| | 12 | 系統だった文法事項として、人称代名詞の活用・be動詞の変化・不規則動詞の活用の習得を目指す。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| 3学期 | 1 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | Lesson3　Interesting Sports<br><br>学習のねらい：スラックラインやバブルサッカーといったユニークな競技を知る。<br><br>主な言語材料：現在進行形・過去進行形<br><br>主な活動：スポーツや過去の行動についてやりとりする。<br><br>指導上の留意点：<br>【内容面】スポーツの面白さを再認識する。<br>【文法面】進行形を用いる場面や同紙に注意させる。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 9 | |
| | 2 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| | 3 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 8 | |

# 高等学校 令和５年度（２学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　紙屋　浅野　酒入　酒井

使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅡ（三省堂）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】　外国語を通じて言語や文化に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】　外国語を通じて情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

評価規準：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の基礎的な働きなどの理解を深めている。またそれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる基礎的な技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的や話題について、複雑でない外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する基礎的な理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて最低限のコミュニケーションを図ろうとしている。 |

評価方法と割合：

| 【知識・技能】　全体の３分の１ | 【思考・判断・表現】　全体の３分の１ | 【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１ |
|---|---|---|
| ①確認テスト５０％<br>②授業内の小テスト３０％<br>③授業内の発表等２０％ | ①確認テスト５０％<br>②提出課題の内容５０％ | ①学習に取り組む状況・振り返りの状況１００％ |

| 学期 | 月 | 具体的な指導目標 | アキルスタンダード（指導項目・内容） | 知 | 思 | 態 | 評価の方法 | 実績（実施日） 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 7組 | 配当時間 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | Lesson1　World Dance Performances<br>●さまざまな伝統舞踊の由来やパフォーマンスにこめられた意味について、理解して考えを深めることができる。<br>●伝統舞踊／映画／イベント／ダンスの授業についてやりとりしたり、頼みごとの経験について発表したり、アンケートの回答を書くことができる。<br>[L] さまざまな伝統舞踊についての概要や要点、必要な情報を、聞き取ることができる。<br>[R] さまざまな伝統舞踊を紹介するテレビ番組について読み、概要や要点を把握することができる。<br>[Sや] 伝統舞踊／映画／イベント／ダンスの授業について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを詳しく話して伝え合うことができる。<br>[S発] 頼みごとの経験について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することがで | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| | 5 | 系統だった文法事項として、人称代名詞の活用・be動詞の変化・不規則動詞の活用の習得を目指す。 | | | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 6 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 12 | |
| | 7 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 8 | |
| 2学期 | 9 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | Lesson2　A Piece of Cake<br>●英語とと日本語の慣用用句について、理解して考えを深めることができる。<br>●英語と日本語の慣用句／動物／旅行／アンケートへの意見についてやりとりしたり、結果について書いて発表することができる。<br>[L] 英語と日本語の慣用句についての対話の概要、必要な情報を、聞き取ることができる。<br>[R] 英語と日本語の慣用句についての対話を読み、概要や要点を把握することができる。<br>伝え合うことができる。<br>[Sや] 英語と日本語の慣用句／動物／アンケートへの意見について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを詳しく話して伝え合うことができる。<br>[S発] 旅行についての質問／アンケート結果について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 10 | タイトル、挿絵などからその内容について想像し、教科書本文の大意を推測することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 11 | |
| | 11 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 12 | |
| | 12 | 系統だった文法事項として、人称代名詞の活用・be動詞の変化・不規則動詞の活用の習得を目指す。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| 3学期 | 1 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | Lesson3　Quakka<br>●オーストラリアの有袋類の動物クオッカについて、理解して考えを深めることができる。<br>[L] クオッカについての概要や要点、必要な情報を、聞き取ることができる。<br>[R] クオッカについての発表を読み、概要や要点を把握することができる。<br>[Sや]絶滅危惧種について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。<br>[S発] 通学中に見たり聞いたりしたことについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することができる。<br>[W] 好きな歌や本／オーストラリアの動物／新聞記事について、基本的な語句や文を | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 9 | |
| | 2 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 10 | |
| | 3 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 8 | |

# 高等学校 令和５年度（２学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教　科：外国語　科　目：論理・表現Ⅰ　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：酒入

使用教科書：（ BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ （数研出版） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 基本的な英単語や英熟語の意味が分かり、話したり書いたりして使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 幅広い話題について、英語を読み理解する。

【学びに向かう力、人間性等】 英語を話すことを恐れず、音読したり発表したりする。

評価規準：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の基礎的な働きなどの理解を深めている。またそれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる基礎的な技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的や話題について、複雑でない外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する基礎的な理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて最低限のコミュニケーションを図ろうとしている。 |

評価方法と割合：

| 【知識・技能】　全体の３分の１ | 【思考・判断・表現】　全体の３分の１ | 【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１ |
|---|---|---|
| ①確認テスト５０％<br>②授業内の小テスト３０％<br>③授業内の発表等２０％ | ①確認テスト５０％<br>②提出課題の内容５０％ | ①学習に取り組む状況・振り返りの状況１００％ |

| 学期 | 月 | 具体的な指導目標 | アキルスタンダード（指導項目・内容） | 知 | 思 | 態 | 評価の方法 | 実績（実施日） 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 7組 | 配当時間 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | Lesson4~Lesson6<br><br>・ 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、口から自然に出てくるように体にしみ込ませて覚えることができる。<br>・ クラスルーム・イングリッシュに親しみ、自ら話そうとする姿勢を持たせる。<br>・ 教科書のモデルリーディングを繰り返し音読することで、スムーズに読めるようになる。<br>・ 既習の単語や文法を駆使して、型にはまった簡単な英作文を作ることができる。<br>・ 既習の文法事項を理解して、書かれている内容をより深く読み取ることができる。<br>・ 簡単な単語を使って、自分の意思が英語で表現できる。<br><br>・動詞・時制について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 5 | |
| | 5 | 系統だった文法事項の習得を目指す。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 4 | |
| | 6 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 6 | |
| | 7 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 4 | |
| 2学期 | 9 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | Lesson7~Lesson10<br><br>・ 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、口から自然に出てくるように体にしみ込ませて覚えることができる。<br>・ クラスルーム・イングリッシュに親しみ、自ら話そうとする姿勢を持たせる。<br>・ 教科書のモデルリーディングを繰り返し音読することで、スムーズに読めるようになる。<br>・ 既習の単語や文法を駆使して、型にはまった簡単な英作文を作ることができる。<br>・ 既習の文法事項を理解して、書かれている内容をより深く読み取ることができる。<br>・ 簡単な単語を使って、自分の意思が英語で表現できる。<br><br>・助動詞・文型について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 6 | |
| | 10 | タイトル、挿絵などからその内容について想像し、教科書本文の大意を推測することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 8 | |
| | 11 | 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、頭で覚えるより口から自然に出てくるように、体にしみ込ませて覚えることができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 4 | |
| | 12 | 系統だった文法事項の習得を目指す。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 4 | |
| 3学期 | 1 | 自分の知っている単語を、ゆっくり読まれた英文の中に認識することができる。 | Lesson12~　Lesson14<br><br>・ 教科書で扱う基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、口から自然に出てくるように体にしみ込ませて覚えることができる。<br>・ クラスルーム・イングリッシュに親しみ、自ら話そうとする姿勢を持たせる。<br>・ 教科書のモデルリーディングを繰り返し音読することで、スムーズに読めるようになる。<br>・ 既習の単語や文法を駆使して、型にはまった簡単な英作文を作ることができる。<br>・ 既習の文法事項を理解して、書かれている内容をより深く読み取ることができる。<br>・文法事項をおさえた例文に親しみ、英文のリズムに慣れる。<br><br>・不定詞・動名詞について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 2 | |
| | 2 | 耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。 | | ○ | ○ | ○ | 観察<br>確認テスト<br>ノート・プリントの記述<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 6 | |
| | 3 | 授業の内容を理解した上で、教科書本文を最後まで音読することができる。正確に教科書の文を書き写すことができる。 | | | ○ | ○ | 観察<br>振り返りシートの記述 | | | | | | | | 4 | |

令和５年度年間授業計画　　東京都立秋留台高等学校

| 教科・科目・講座等 | コミュニケーション英語Ⅰ | ３ 単 位 | ３ 学 年（必修） |
|---|---|---|---|
| 教科書・副教材等 | VISTA English Communication Ⅰ　VISTA English Communication Ⅰ New Edition・ Workbook　・COMET 基本文法定着ドリル１ | 教 科 担 当 | 金島　酒入　佐藤 |

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | １．幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる<br>２．幅広い話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる<br>３．幅広い話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる |

| 学期 | 月 | 主な学習内容 | 進捗状況 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 7組 | | アキルスタンダード | 評価 | 学習のねらい | 評価の観点 | 配当時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・Lesson7<br>Machu Picchu | | | | | | | | | ・基本単語・熟語を繰り返し学習し、正しく発音をするとともに<u>正しくスペルアウトし、さらに日本語の意味を答えることができる</u>。<br>・初見の教科書本文を読み、教科書記載のイントロダクションや挿絵等を参考に大意を想像することができる<br>・基礎的な英文法を理解し、教科書本文の意味を把握することができる。<br>・<u>教科書の英文を正確に書き写すことができる。</u><br>・意味を把握した上で、教科書本文を正しく流暢に音読することができる。<br>・簡単な英文で事実や出来事を述べることができる。<br>・簡単な英語を用いて、自分の意思を相手に伝えることができる。 | | １．単語・熟語<br>２．現在完了 | ○知識及び技能<br>英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができたか。<br>○思考力判断力、表現力<br>情報や考えを理解することができる。適切に表現したり伝え合ったりできたか。<br>○学びに向かう力、人間性等<br>授業の中のコミュニケーションや生涯にわたる英語学習に取り組もうとしているか。<br>確認テスト<br>10/30<br>単語テスト<br>3/30<br>提出物<br>9/30<br>会話点<br>2/30<br>出席点<br>2/30<br>平常点<br>1/30<br>ふりかえりの状況<br>3/30 | 8<br>11<br>11<br>11 |
| 二学期 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・Lesson 8<br>*Motala and Landmines*<br>・Lesson 9<br>Dick Bruna・ | | | | | | | | | ・基本単語・熟語を繰り返し学習し、正しく発音をするとともに<u>正しくスペルアウトし、さらに日本語の意味を答えることができる</u>。<br>・初見の教科書本文を読み、教科書記載のイントロダクションや挿絵等を参考に大意を想像することができる<br>・基礎的な英文法を理解し、教科書本文の意味を把握することができる。<br>・<u>教科書の英文を正確に書き写すことができる。</u><br>・意味を把握した上で、教科書本文を正しく流暢に音読することができる。<br>・簡単な英文で事実や出来事を述べることができる。<br>・簡単な英語を用いて、自分の意思を相手に伝えることができる。 | | １．単語・熟語<br>２．受動態<br>３．関係代名詞 | | 12<br>12<br>12<br>12 |
| 三学期 | 1 | ・Lesson 10<br>*Tsujii, the Great Pianist* | | | | | | | | | ・基本単語・熟語を繰り返し学習し、正しく発音をするとともに<u>正しくスペルアウトし、さらに日本語の意味を答えることができる</u>。<br>・初見の教科書本文を読み、教科書記載のイントロダクションや挿絵等を参考に大意を想像することができる<br>・基礎的な英文法を理解し、教科書本文の意味を把握することができる。<br>・<u>教科書の英文を正確に書き写すことができる。</u><br>・意味を把握した上で、教科書本文を正しく流暢に音読することができる。<br>・簡単な英文で事実や出来事を述べることができる。<br>・簡単な英語を用いて、自分の意思を相手に伝えることができる。 | | １．単語・熟語<br>２．関係副詞 | | 12 |

<u>太字</u>については朝の３０分授業（ベーシックⅡ）においても学習

＊評価：Ａ（十分に達成できた）、Ｂ（おおむね達成できた）、Ｃ（不十分であるが達成できた）、Ｄ（達成できなかった）

令和５年度年間授業計画　　東京都立秋留台高等学校

| 教科・科目・講座等 | 実用英語 | ２　単 位 | ３学年（自由選択） |
|---|---|---|---|
| 教科書・副教材等 | 英検総合トレーニング準2級／<br>英検分野別10分ドリル準2級／出る順パス単英検準2級　旺文社 | 教 科 担 当 | 紙屋 |

| 学習の到達目標 | １　英検準２級レベルの語彙問題および文法の内容を理解し、問題を解くことができる。<br>２　英検準２級レベルの文章問題および英作文問題の内容を理解し、問題を解くことができる。<br>３　英検準２級レベルのリスニング問題の内容を理解し、問題を解くことができる。 |
|---|---|

| 学期 | 月 | 主な学習内容 | 進捗状況 | | | | | | | | アキルスタンダード | 評価 | 学習のねらい | 評価の観点 | 配当時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 7組 | | | | | | |
| 一学期 | 4<br>5<br>6<br>7 | １章　文法<br>２章　筆記１<br>３章　筆記２ | | | | | | | | | ・英語と日本語の違い（名詞の語順、単数/複数、名詞の加算/不可算）を確認し、違いを意識する。<br>・基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、英検準２級レベルの文章を読むために必要な単語の意味が理解できる。<br>・英検準２級レベルの単語や短いチャンクを聞き取り、意味が理解できる。<br>・耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。<br>・授業の内容を理解した上で、文章を最後まで音読することができる。 | | 単語、熟語、慣用句等について学ぶ。 | ○知識及び技能<br>英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができたか。<br>○思考力判断力、表現力<br>情報や考えを理解することができる。適切に表現したり伝え合ったりできたか。<br>○学びに向かう力、人間性等<br>授業の中のコミュニケーションや生涯にわたる英語学習に取り組もうとしているか。 | 2<br>2<br>6<br>3 |
| 二学期 | 9<br>10<br>11<br>12 | ３章　筆記２<br>４章　筆記３・４<br>５章　筆記５ | | | | | | | | | ・英語と日本語の違い（名詞の語順、単数/複数、名詞の加算/不可算）を理解し、問題に取り組むことができる。<br>・基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、英検準２級レベルの文章を読むために必要な単語の意味を理解し、問題に取り組むことができる。<br>・英検準２級レベルの単語や短いチャンクの意味を理解し、問題に取り組むことができる。<br>・耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。<br>・授業の内容を理解した上で、文章を最後まで音読することができる。<br>・モデルセンテンスの一部を入れ替えて英作文ができる | | 単語、熟語、慣用句等について学ぶ。 | 確認テスト<br>10/30<br>単語テスト<br>3/30<br>提出物<br>9/30<br>会話点<br>2/30<br>出席点<br>2/30<br>平常点<br>1/30<br>ふりかえりの状況<br>3/30 | 4<br>5<br>1<br>6 |
| 三学期 | 1 | ５章　筆記５<br>６章　リスニング | | | | | | | | | ・英語と日本語の違い（名詞の語順、単数/複数、名詞の加算/不可算）を十分に理解し、問題に取り組むことができる。<br>・基本単語・基本熟語に繰り返し触れ、英検準２級レベルの文章を読むために必要な単語の意味を十分に理解し、問題に取り組むことができる。<br>・英検準２級レベルの単語や短いチャンクの意味を十分に理解し、問題に取り組むことができる。<br>・耳から聞いた初歩的な英文を聞いたとおりに模倣して発声することができる。<br>・授業の内容を理解した上で、文章を最後まで音読することができる。<br>・モデルセンテンスの一部またはすべてを入れ替えて英作文ができる | | 単語、熟語、慣用句等について学ぶ。 | | 7 |

＊評価：Ａ（十分に達成できた）、Ｂ（おおむね達成できた）、Ｃ（不十分であるが達成できた）、Ｄ（達成できなかった）